

令和4年度 やまもも福祉会事業報告

社会福祉法人 やまもも福祉会

事業 高松保育園の経営
やまもも保育園の経営
延長保育事業
乳幼児保育事業
障害児保育事業
緊急一時保育事業（リフレッシュ保育事業）

1. ◎法人本部の運営について

今年度は「高松保育園」「やまもも保育園」の2事業を運営してきた。

ウイズコロナの精神で地域の行事なども再開されつつあった為、本法人としても様々な事業を再開したいと考えていたのだが、コロナ禍の影響はすぐには拭えず、やはり一つ一つ出来る限りのコロナ感染防止策を考えながらの実施となった。

両園の保育士不足もなかなか解消されない中、重症化はしなくなったとはいえ感染力の強いコロナウイルスに立ち向かう為、日々の保育に加え園内消毒や玩具消毒等、常に配慮を続けなければならず、そんな環境に少々疲れも見えた。特に経験の少ない若い保育士たちにとっては精神的にも体力的にも厳しい就労状況であったと感じる。今一度初心に戻り、本法人が目指す「家庭的なぬくもりのある保育」「豊かな心を育てる保育」「生きる根っこを育てる保育」についてよく話し合い、職員一人一人の士気を高めつつ調和を取り戻したい。

財政的には高松保育園は修繕が必要な時期に来ており思いがけない出費が重なり、又 やまもも保育園もまだまだ余力がない為、今年度は両園共にマイナスという結果となり苦しい状況が続いている。少子化の影響はまだそれ程感じられない為、堅実な運営を心掛けて行きたい。

地域との交流に関しては久しぶりに実施された「公民館祭り」に両園とも参加し楽しいひと時を共有することができた。地域に愛される、そして必要とされる園であり続けられるよう努力を重ねて行きたい。

◎高松保育園の運営について

令和4年度は、新入園児17名と進級児を合わせ84名でスタートし、途中入退園が数名あり最終的には88名であった。

ここ数年、90名の定員を割る園児数であるが、歳児によって途中入園は見込めない歳児もある（以上児）。また職員の就労状況を考え、0・1歳児の受け入れも減らしていることが要因の1つであると思われる。

また職員については、退職の意向を伝えてきていた職員もいたため、少し前から途中採用を心掛けてきた。しかし結果的には6名の退職者があり、令和5年度も職員体制は厳しいものがある。

園児はとても元気で、様々な活動を楽しむことができる子ども達であるので、今後も子ども達と楽しめる保育を展開して、様々な成長を見守ってゆきたい。

また、コロナ禍は保育園行事も制限が多かったが、少しずつではあるが、保護者の参加も以前の状況に戻す方向で検討しながら行ってきた。今後は日常の様子も見て戴けるようになるとうい。

令和4年度は社会的にも様々な厳しい目を向けられた保育業界であるが、高松保育園でも保護者からの苦情とともに保育士として心掛けるべき事(守秘義務・子供への対応等)について考える良い機会となった。しかし、保育士自身では気が付かないようなちょっとした「不適切な対応」はまだまだあるのではないかと思われる。職員全員でお互いに言い合える関係性を築いていくこと、また子ども達に具体的にどう伝えたらよいのか等を研修する場もあるとよいと考える。一昨年から、園内研修で職員が2グループに分かれ、(年齢、経験関わらず)保育の事、悩み等話し合う機会を設け、良かったという声が多かったため、引き続き続けてゆくようにし、職員同士でアドバイスをし合ったりしてよい関係性を作っていきたい。

また、石川社労士さんと顧問契約を交わし、運営等様々な相談できる体制を作るとともに、職員に向け、就労等についての講座を開いてもらい、意識改革も図れるようになるとよいと思われる。

職員の業務の簡素化、また保護者の利用に当たりICT化を進めていけるよう、現在様々な会社の内容を吟味しているが、早めに導入していきたい。

◎やまもも保育園の運営について

令和4年度は、新入園児29名と進級児を合わせた126名でスタートし途中入園児があり7月には定員130人一杯となり委託費収入も落ち着いた。歳児によっては待機児童があったが、保育士不足の為受け入れは不可能であった。

開園3年目を迎えたが財政的には初期費用不足だった部分が尾をひいており、必要不可欠な遊具をそろえられずにいた。又今年度からは福祉医療機構からの借入金の償還も始まる為自力での購入は難しい状況であった。そこで高松保育園から350万ほど借用し思い切ってそれらを購入した。遊具が増え子どもたちの遊びにも広がりが見られ大変感謝している。

園児については、全体的に明るく元気一杯だが生活全般にけじめをつけにくい面や、落ち着いて人の話を聞けない子、言葉使いが気になる子などが多い為、保護者と共に考えてゆくべき課題を感じる。メディアと共に育てゆく子どもたちだが、人の心の痛みがわかり、思いやりの心を持った子どもたちを育てたいと切に願う所である。

保育については、3歳未満児に関しては基本的な生活習慣の自立が年々遅くなっている。離乳食完了時期を始めとし、トイレトレーニングや箸の使用開始時期等、各家庭の思いが定まらないため保育園からのリードの必要性を強く感じている。

3歳以上児に関しては言葉の遅い子が多く自分の思いを上手く伝えられない為におこるトラブルが多かった。自分の好きな遊びをのびのび楽しみ、友達とその楽しみを共有するためにはやはり「言葉」はとても大切なものである。仕事と子育ての両立は難しく忙しい日々を過ごしている保護者ではあるが、じっくり関わり、思いに寄り添って話を聞いてあげる事が子どもの言葉を引き出す一番の近道であることを伝え続けていきたい。

園全体としては『豊かな環境～夢中になって遊ぼう!～』をテーマに「子どもたちが好きな遊びをみつけて遊び込める様な環境を整える」を目標に園内研修に取り組んだ。

3歳未満児は、室内や広い廊下を子どもたちの発達や季節に合わせての環境作りを心掛けた。小さいながらもその変化に気づき楽しそうに遊ぶ姿に、保育士も次への意欲をそそられていた。

3歳以上児は室内のコーナーはコットベットの関係もあり、単発になりがちであったが、戸外遊びが大好きな子どもたちと様々な生き物を飼育し虫博士が現れるほどであった。

年度後半は“こびと探し”の仕掛けを園全体にすると、年長児から始まり、年中・年少へと広がり、保護者も巻き込んで3歳未満児の子どもたちにまで大人気となった。大きい子どもたちが、まだ見つけられない小さい子の手を引いて教えてあげる姿も見られ、大イベントとなった。

開園して3年が過ぎ、新しい園舎にも慣れ、保護者との信頼関係もずいぶん築けてきていると感じる。今年度は精神的不調や身体的不調で職員が傷病手当を使って3人も休んでしまったにもかかわらず、多くの方に支えられ、職員皆が力を合わせて乗り切る事が出来たことに感謝している。今年度は不適切な保育報道が多々聞かれ、保育という職業に疲れや疑問を感じた職員も少なくない。保育者自身の心のケアも大切にしてゆく必要がある。コロナもようやく落ち着いてきた為、来年度こそは保護者参加型の行事を多く取り入れ、子どもたちの成長について共に語らい、見守り、力を合わせて安心安全な保育をめざしたい。

○御前崎市地域子育て支援センター「にこにこランド」について

令和4年度は職員体制が確保できず、やむなく1年間休所ということになる。しかし、此処彼処から「いつから遊びに行けるの?」「相談したい人がいるのだけれど・・・」というような嬉しい声が聞かれ、地域に必要とされていることを改めて知り、是非、早くに再開したいと感じている。

2. 法人役員会開催報告

- ◆令和4年6月1日 <第1回理事会>
 - ・令和3年度 本部・施設事業報告及び会計収支決算審議
 - ・令和3年度 園児の状況等について

- ◆令和4年6月16日 <評議員会>
 - ・令和3年度本部・施設事業報告(案)承認について
 - ・令和3年度本部・施設会計決算書(案)承認について
 - ・各園より報告事項
 - 令和4年度高松保育園組織・園児の状況について
 - 令和4年度やまもも保育園組織・園児の状況について

- ◆令和4年11月18日 <第2回理事会>
 - ・令和4年度高松保育園・やまもも保育園一次補正予算案審議
 - ・報告事項 理事長より
両保育園：園児・職員の状況について

- ◆令和5年3月28日 <第3回理事会>
 - ・本部・施設会計二次補正予算案審議
 - ・前期末支払い資金残高の取崩について
 - ・令和5年度 本部・施設事業計画案審議
 - ・令和5年度 本部・施設会計予算案審議
 - ・選任解任委員2名・理事6名・監事2名の選任について
 - ・理事長執行報告

- ◆令和4年 5月27日 決算監査

- ◆令和4年11月16日 定期監査

- 令和5年3月10日 市こども未来課監査 AM 高松保育園
PM やまもも保育園
※改善事項有

□令和 5 年 3 月 14 日～20 日 追加調査（高松保育園職員面接）

□令和 5 年 3 月 27 日 追加調査の報告

保育所指導監査による確認事項報告書

園名：高松保育園 報告責任者：園長 栗林絹代

指導監査年月日：令和5年3月10日、14～17日、20日

項目	現状と今後の対応策									
<p>保育基準に沿った保育体制の整備</p> <p>(1) 午睡中の監視体制 (2) 早番の適正な職員配置 (3) 適切な室温管理 (4) 防災訓練の実施 (5) 虐待発見と通報義務</p>	<p>(1) 午睡中、基本的にはクラス担当が各保育室に居て見守っていますが、3歳以上児の3クラスについては合同で1名が午睡巡回をしています。県の指導監査で特に指摘されたことはありません。</p> <p>卒園式の練習は、年長児と職員で午睡時間に行っています。保育室から担当が席を外す際には巡回者に伝えていきます。また巡回者は子ども達の様子次第で担当に直ぐ戻るように伝えなければならないこととしており、若い職員に巡回当番の役割がきちんと伝わっていないことに気づかされました。若い職員が増えたため、基本的なことや共通理解を大切にしていきたいと思えます。</p> <p>(2) 早番保育は7時より開始、順次登園してくる園児の人数に対し保育士が増えていくよう体制を組んでおり、配置人数は十分に足りています。プラスして本園では、早遅番保育時に食育の一環も含め、給食員を余分に配置し、園児とふれあいの時間としています。不適切と感じる職員がいたことについて、こういった疑問を気軽に聞ける職員の関係性は勿論ですが、人間関係づくりの大切さも伝えていく必要があると感じています。</p> <p>(3) 節約のため一時的に使用電力が上限を超えないよう使用方法を工夫していましたが、このところの夏の暑さに対応するため「暑さ指数(適温適湿)」を基にエアコンの使用目安を設定することにし、6月梅雨期より実施予定です。</p> <div data-bbox="778 1608 1388 2139" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">適切な温度・湿度管理は下記を目安に行う</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冬季</td> <td>20～23℃</td> <td>40～60%</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>26～28℃</td> <td>45～65%</td> </tr> </tbody> </table> <p>冷房による26℃以下の冷え過ぎは、子供の体温調節機能や汗腺の発達を妨げるので気を付ける。</p> <p>特に動きの少ない0歳児クラスについては、子供の体に直接触れて冷えすぎているか確認をする。</p> </div>		温度	湿度	冬季	20～23℃	40～60%	夏季	26～28℃	45～65%
	温度	湿度								
冬季	20～23℃	40～60%								
夏季	26～28℃	45～65%								

	<p>(4)防災訓練は、月末に行ってきましたが、計画通りの日程で確実に実施できるよう、また、何かの都合で予定が変更になっても、月内で行うことができるよう、月末ではなく月中に変更し4月より実施しています。</p> <p>(5)半日勤務のフリー保育士より怪我について不審に感じる点を聞いていました。クラス担当は保護者の様子や怪我の詳細について確認、本児にもそれとなく尋ねた様子を改めて報告を受けましたが、暴力とは判断できず市へ報告はしませんでした。(園長も怪我について受診をした母親にも様子を確認するなどしたが、暴力とは判断できませんでした。)確かに0才児の双子を含む4人の子育てと仕事 家庭の両立が大変なことは重々解っておりサポートが必要な家庭です。市の保健師等園訪問の際には、配慮が必要な家庭なことは連絡済みであり、各クラス担当は勿論、園で出来るサポートはやっていたつもりでしたが、職員間の共通理解も不十分だったことは反省すべき点です。個人情報に留意しながら情報共有を大切にしていきたいと思います。</p>
<p>不適切な保育の改善 ・セルフチェックリストでは発見できていない不適切な保育</p>	<p>・関係職員にまずは話を聞いたところ、感情的になってしまった部分はあったとのことでした。今後、部分的に見られても不適切な関わりと見える保育とならないよう十分注意していきたいと反省していました。しかし保育士同士の思いやりも大事であり、何かあったの？大丈夫？等フォローする声掛けも必要であると感じます。また管理者としては、保育現場を巡回し状況把握や助言に力を注ぐこと、保育体制に余裕ができるよう人員配置への配慮を考えています。</p>
<p>職員の人材育成の体制整備と処遇改善 (1)人材育成を考慮した職員配置 (2)人事評価等による職員管理指導</p>	<p>(1)まずは人材を育成するためにも、余裕を持った職員体制をと考えており、昨年度は退職する予定の職員を把握していた部分もあり、次年度(5年度)に向けて順次余裕を持って対応できるよう非常勤職員などの途中採用をしてきました。今年度においても、ハローワークやタウンページ等への求人の掲載、人材会社へ依頼などをし、様々に職員の負担軽減を図りながら、心にも余裕を持って保育ができるように、人材確保に努力しているところです。</p> <p>職員配置については、経験年数や勤務状況に配慮して行っていますが、フォローが必要な時は副園長・園長も動くようにしています。</p> <p>(2)また毎月、自己を振り返る機会を作るため、簡単なチェック表を用意して、一人一人の様子をきちんと把握し、思いを聞いたり、アドバイスができるようにしたいと考えています。</p> <p>(自分たちの思いを強く主張するばかりでなく、保育という仕事はどういうものなのか、社会人</p>

	<p>としての態度や姿勢も伝え、育てていく必要もあると感じています。)</p>
<p>保育環境・職場環境の改善 (1)適切な保育環境 (2)出勤簿の適正化 (3)職員の健康に考慮した有給休暇取得や職場環境の配慮 (4)時間外勤務手当の確実な支払い (5)職員に負担となっている古い習慣の見直し</p>	<p>(1)保育士の負担を軽減するため、行事内容や、製作物等の見直しを前年度末に行い、実行し始めており、日常の保育に支障がないように心掛けています。</p> <p>(2)勤怠管理について、早急にITC化を進めるよう考えていますが、どのようなものを導入するか、吟味して検討していますので、少々時間がかかると思われます。</p> <p>(3)人手不足もあり、状況を見て無理がなければ出勤をしてもらったこともあります。現在はほとんど休暇を取ってもらっています。また出勤しても本人に健康状態を確認し、しばらく休憩してもらったり、早退してもらっています。職員の休暇等については本人の体調不良だけでなく出張や家族に係わる休みもあるため、複数人が一度になるとフォローが大変なこともあります。そこでもやはり余裕を持った職員体制が必要となると考えています。</p> <p>(4)時間外勤務については、個人の申請カードを作成し申請制で行っていますが、なかなか個人的に声をかけないと申請しない職員がいたり、園長のチェックで時間外を付けていたこともあったため、時間外の申請についてもっと明確に決め、掲示するなどし、申請し許可されたもの以外は認めない等、けじめをつけていきたいと思えます。ただし、急な残業については内容を吟味し、柔軟に認めてゆくようにしたいと考えています。</p> <p>(5)園長、副園長、主任にお中元お歳暮を渡していたが今年度より廃止し、年賀状のやり取りも同じく無しとします。</p>

令和4年度

高松保育園・事業報告

令和4年度 歳児・月別在籍児

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計	途中入園	途中入園
4月	3	11	18	18	17	17	84		
5月	4	11	18	18	17	17	85	0才児1名	
6月	4	12	18	18	17	17	86	1才児1名	5才児1名
7月	6	12	18	18	17	16	87	0才児2名	
8月	6	12	18	18	17	16	87		
9月	6	12	18	18	17	16	87		
10月	6	12	18	18	17	16	87		
11月	6	12	18	18	17	16	87		5才児1名
12月	6	12	18	18	17	15	86		
1月	6	12	18	18	17	15	86		
2月	8	12	18	18	17	15	88	0才児2名	
3月	8	12	18	18	17	15	88		
合計	69	142	216	216	204	191	1038		

令和4年度 土曜保育利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	4	4	4	5	3	4	4	4	4	4	3	3	46
利用数	20	21	29	35	14	27	32	27	23	23	23	18	292

令和4年度 緊急一時保育利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0~2歳	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	1	7
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	1	7

令和4年度 延長保育利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
朝	75	67	97	63	47	63	73	40	30	23	17	21	616
夕	13	40	53	83	54	66	75	42	58	34	43	53	614
計	88	107	150	146	101	129	148	82	88	57	60	74	1230

令和4年度 高松保育園 行事報告

月日	園児の行事	参加人数	月日	保護者会の行事
4/2	入園・進級おめでとうの会	園児 84名 + 保護者各 1名	4/16	第1回保護者会役員会
4/28	こどもの日お楽しみ会	園児 84名		
5/13	健康診断(内科)	園児 82名. 後日 3名	4/22	保護者会総会(書面報告)
5/14	家庭訪問	園児 70名. 別日 15名		
5/17	親子磯遊び遠足	園児 52名. 保護者 52名		
5/23	幼年消防クラブ結成式(消防署指導)	園児 15名		
5/27	交通教室(警察署指導)	園児 82名	5/11	保護者会費集金(前期分)
6/1	ちびっこおまわりさん(警察署指導)	園児 16名		
6/9	健康診断(歯科)	園児 80名. 後日 6名		
6/17	プール開き	園児 77名	6/4	第1回保護者会園内整備
6/20~23	第1回親子ふれあい活動	園児 54名. 保護者 20名		
中止	花火教室(消防署指導)			
7/7	七夕お楽しみ会	園児 84名		
中止	高松ふれあい広場		7/30	第2回保護者会役員会
8/4~5	夏まつり	園児 80+79名		
8/29	4才児すこやか健診	園児 15名		
8/31	プール納め	園児 76名		
9/2	スクラム防災訓練	園児 81名. 保護者 64名		
中止	4才児 SL 親子遠足		9/3	第2回保護者会園内整備
10/1	たかほっこ運動会	園児 81名 + 保護者 130名	10/5	保護者会費集金(後期分)
中止	市社協ふれあいまつり		11/10	第3回保護者会役員会
中止	高松地区運動会			
中止	高松文化の祭典			
10/27	3才以上児 8020 歯磨き指導	園児 49名		
10/28	健康診断(内科)	園児 84名. 後日 3名		
11/5	第2回親子ふれあい活動	園児 74名 + 保護者 61名		掘りおこし有志で協力
11/26	未満児-生活発表会	園児 34名 + 保護者 33名		
12/3	以上児-生活発表会	園児 50名 + 保護者 51名		
12/16	5才児懇談会	保護者 15名		
12/19	5才児みかん狩り(地域)	園児 12名		
12/22	サプライズ Xmas デー	園児 76名		保護者会役員 2名協力
1/13	どんど焼き	園児 74名		
1/20	4才児懇談会	保護者 16名		
1/23~2/24	かけっこ集会	全園児 86名	1/21	第4回保護者会役員会
1/ ~2/	個人面談(希望者)	0~3才児保護者 50名		
2/3	豆まき会	園児 72名		
2/7	消火訓練(消防署指導)	園児 70名		
2/14	4・5才児交通教室	園児 30名		
中止	5才児卒園記念親子遠足			
3/2	ひなまつり誕生会	園児 83名		
3/3	3才以上児お別れ遠足	園児 48名	3/10	保護者会総会
3/18	卒園式	園児 15名 + 保護者 29名	3/11	園内整備追加回
毎月	ハッピーバースデー. 防災訓練(避難・消火). あいさつデー(毎月10日). 身体測定 キッズプラザ(月2回)カワイ体育教室指導の運動遊び お茶会(3・4・5才児)*お茶ソムリエによる指導は中止 読み聞かせ会(全才児)アスバル職員による			
隔月	サッカー教室(4・5才児). かきかた教室(4・5才児)*4才児は10月より			
その他	巡回相談(年2回). 食育作法教室(5才児) 新入園児面接. 入園説明会. 職員救急法. 採用試験(年4回)			

令和2年度職員外部研修実績報告

	月 日	研 修 会 名	開 催 地	出 席 者	内 容
1	4/23	掛川小笠保育士会総会	リモート	14名	コロナ禍における良質な保育、教育の提供
2	4/26	県保連総会	静岡市	沖け	
3	5/6	個性伸長支援教育コーディネーター研修会	本庁	沖け	
4	5/18	施設長研修会	浜松市	園長	
5	5/19	掛小保給食研修会	リモート	大松	コロナ禍の今だからこそ大切にしなければならない事
6	5/19	掛小理事会	リモート	栗林	
7	5/24	県保育士会総会・講演会	清水マリナート	菊川	公演「あなたに歌を届けたい」
8	6/21.22.23	キャリアアップ研修会	浜松市	福代・大松	乳児保育
9	6/23	県保育士会保育士研修会	清水マリナート		欠席
10	6/27	保連西中堅職員研修会	浜松アクト	沖け	一流アスリート達が実践する心と身体が元気になる方法
11	6/28	ふれあい広場検討会	児童館	川村	ふれあい広場検討委員選出及び開催検討会議
12	7/1	県保、保育士研修会	リモート	今坂	危機管理「自分の心を守り、子どもの命を守る」
13	7/2	掛小保療育講演会スクラム御前崎の集い	さくらんぼホール	園長・川村・和田	御前崎クエスト活動発表、講演「子ども達の健やかな脳発達の為に」
14	7/5. 6. 7	キャリアアップ研修会	グランシップ	和田	保護者支援、子育て支援
15	7/15	就学支援委員会	研修センター	沖け	
16	7/26	高松地区青少年健全育成懇談会		沖け	
17	7/30	療育講演会	あすなろ	6名	
18	8/2	スクラム研究会合同研修会	浜中	沖け	
19	8/4	御前崎市ふれあい広場全体会	福祉会館	川村	ふれあい広場開催方法について
20	8/18	たにぞう手遊びしましょ遊びしましょ	動画配信	5名	手遊び、歌遊び、絵本の紹介
21	8/24	社会保険講座		園長・沖け	
22	9/1	就学時健診事前説明会	市役所	川村	
23	9/3	掛小保研究発表会	シオーネ	7人	
24	9/27.28.29	キャリアアップ研修会	沼津ヴェルデ	今坂	障害児保育
25	10/7	リーダーセミナー	浜松アクト	今坂	ひとりひとりを大切に作る保育
26	10/12	就学時健康診断引率	第一小	川村	
27	10/12,13,14	キャリアアップ研修会	浜松	和田・荒木	食育・アレルギー対応
28	10/22	自主研修	リモート	5名	園や小学校における発達支援
29	10/25	掛小保理事会	リモート	園長	事故発生時の対応のためのガイドライン
30	10/29	小笠地区乳幼児保健会講演会	リモート	笹本	「遊びは子どもの主食」
31	10/25.26.27	キャリアアップ研修会	沼津ヴェルデ	大松・荒木	保健衛生・安全対策
32	10/31.11/1.2	キャリアアップ研修会	静岡市	福代	幼児保育
33	11/1	主任保育士、主幹保育士教諭研修会	浜松市		欠席
34	11/14,15,16	キャリアアップ研修会	浜松アクト	川村	マネジメント
35	11/21.22	民間園長研修会	浜松	栗林	
36	12/6	保連西部支部初任職員研修	浜松市	大石	あそび歌、ミニワークショップ
37	12/9	県保連施設長研修	清水マリナート	沖け	
38	12/15	県保連育児相談研修	浜松アクト	塚本綾	「保育者のコミュニケーションを考える」
39	12/23	緊急セミナー	ライブ配信	園長・沖け	子どもの最善の利益を守るために
40	12/27	県健康福祉部講演会	動画配信	全職員	不適切な保育を未然に防止するための取組みについて
41	1/17	掛小保理事会	書面	園長	書面
42	1/28	小笠地区乳幼児保健会講演会	リモート	5名	子どもの発達を見守るために知っておきたい事
43	2/2	園長主幹教諭等合同研修会	本庁	園長	
44	2/4	保育の集い	シオーネ	11名	手遊び講演会
45	2/10	食育研修会	清水テルサ	西島	「子どもかがやく食育実践の進め方」
46	2/20.21	新規採用職員研修会	三ヶ日	松下・原田	

47	3/2	給食関係者研修会	磐田市	大松	
48	3/7	掛小保理事会	リモート	園長	
49	3/28	青年部会中部支部研修	WEB	川村	未就学児施設で最悪のクライシスを防ぐ方法
市内研修会・連絡会 他	★高松地区 ・みどり会(年間数回) 園長 ★掛川小笠保育士会 ・グループ研修会 阿形 ・理事会 栗林 ★御前崎市地域福祉推進委員会 沖け ★スクラムスクール運営協議会 栗林・保護者会長 ★子ども子育て会議 栗林・保護者会副会長		★児童相談連絡会 栗林・沖け ★個性伸長支援教育コーディネーター研 沖け ★食育連絡会 井口 ★園小連絡会 福代・川村 ★市内園長会 園長		

令和4年度（4～3月）育児相談記録集計

園長	副園長	主任

相談件数（336件）

クラス	健康・生活											社会性			家庭			特記			合計
	食事	睡眠	排泄	着脱	病気	性癖	その他	発達			遊び	経済関係	家族関係	その他	口頭	電話	ノート				
								言葉	身体	知能								情緒			
こがめ	15	5	3	0	0	1	3	1	0	0	7	6	0	0	0	0	21	0	20	41	
こりす	12	3	2	2	2	0	11	8	1	0	22	6	0	0	4	0	48	0	25	73	
こじか	11	5	17	5	6	0	11	2	0	0	11	5	1	0	18	0	25	0	67	92	
こぐま	5	2	4	1	0	0	9	0	0	1	3	2	1	0	4	0	19	0	14	33	
ことら	6	5	1	0	0	1	1	0	2	1	3	11	1	0	1	0	31	0	4	35	
きりん	2	2	2	0	12	0	3	1	0	1	11	8	2	0	16	4	51	4	7	62	
合計	51	22	29	8	20	2	38	12	3	3	57	38	5	0	5	195	4	137	336		

令和4年度 園児の事故（受診）報告

事故件数 2件 (①～②)

事故発生の時期と年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才児												
1才児												
2才児												②
3才児												
4才児												
5才児									①			

発生時刻

～8:15 (早番)	8:15～ 9:00	9:00～ 10:00	10:00～ 11:30	11:30～ 12:30	12:30～ 14:30	14:30～ 16:00	16:00～ 16:45	16:45～ (遅番)
			①②					

怪我の部位と症状

	脱臼	打撲	骨折	虫さされ	内出血	その他
口腔内						
顔						
足			②			
腕	①					

事故の状況や原因となったもの

- ① (5才児：左肘脱臼の疑い) 発表会の踊りを遊戯室で練習中の出来事。本児は他グループの発表を見ていたが、振り向いた際に友達の左額あたりと衝突、泣きながら痛みを訴えた。
……おしゃべりしながら楽しく見ていたが、振り向き様のこと防ぐことは難しかった。
- ② (2才児：右足下腿骨骨折) 大型遊具の滑り台を滑り終え歩き出そうとした本児の右足に、すぐ後ろを滑り降りてきた他児の足が当たり倒れこんだ。近くに居た保育士が駆け寄り立たせようと手を添えるが、痛がって立とうとしなかった。
……防犯カメラで事故の状況をしっかり確認できた。子どもたちが順番に滑り台を降りてきており、今までこのような事故が起きなかったことが不思議なくらい日常の姿であった。間隔を空けて滑るよう、見守りが大事だと感じた。

令和4年度 園内研修 実施表

テーマ	『遊びを豊かにする環境づくり』 ～やってみたいな、たのしいな、みんなであそぶのだ～いすき♡～	ねらい	◎年齢や発達に合わせ、子どもたちの遊び、保育が充実していくような環境作り、教材研究をする。 ◎遊びの環境について保護者に発信することで、遊びを知るきっかけになったり、家庭での遊びのヒントに繋がったりすることを願う。 ◎少人数のグループで保育等について話し合う機会を定期的に設け、保育観を共有し、スキルアップを目指す。
配慮点	・子どもたちの遊びや、日々の保育をよく見つめ、各クラスごと環境設定のために探求、研究、製作をする。 ・環境作り、教材研究をもとに、子どもたちが楽しむ様子をおたよりや掲示で保護者へ向けて発信し、遊びの紹介をする。又、質問や意見、要望の声が上がったら、保護者とのやり取りを大切にしていく。 ・担当クラス、経験年数の違う職員とグループになり、保育(実践した活動、困り感)について話し合うことで保育観を共有していく。		

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
クラスの活動	いぐめ	新聞プール 手作り玩具	ビジーボード作成		・ウォーターマット 指先を使って冷たい感覚を味わったり、プルプルの柔らかい感覚を味わう。	・ 本棚の作成 自分で好きな絵本を選んだり出し入れができるようにする。	・マラカス作り ・ミルクの缶を使った玩具 ・手先を使ってジョーゼットスカーフを引っ張ったり入れたりして楽しむ。	・手作りバス ・バスに乗りながら歌を歌ったりハンドルを持ったりしながらリズム遊びを楽しむ。	・マラカス作り 発表会に向けてリズム遊びを楽しみ、担当や友達と音を鳴らしてリズムに乗る。	・お正月遊び玩具 0歳児なりに正月遊びを楽しむ。体を十分に動かし、身体能力を促す。	
	いすせ	踊り	・ボンボン作りをし、踊りの時に使って楽しめるようにする。 ・ウォーターマット	・プールの玩具作り	・好きな絵本のイラストを壁面に飾り、やりとりを楽しむ。 ↳ 1回のみに限ってはおく	・お散歩バック作り ↳ バックを持って、散歩に出かける			・絵本の棚の作成をし、自分で好きな時に絵本が見られるようにする。	・お正月遊び(たこあげ) たこづくり ・まねっこ遊び	
	いごが	・野菜のイラストを見えるところに貼った ・踊り 帰りの時間に踊った(新曲3曲) ・食べ物に関する絵本を読んだ		毎日ダンスタイムを設け、楽しむ。	野菜カード遊び(名前を知る)	冬野菜の栽培・収穫(持ち帰り有り) ~2月 ↳ 3月	発表会に向け、衣装に慣れる為に、玩具として変身グッズを設置	発表会局に愛着を持つためにお面など、道具作りを楽しむ。保育室以外でのダンスタイム	野菜パズル(形を知る)	野菜カルタ(実物写真使用) 羽子板製作 ↳ 3月	実際の野菜に触れた活動(スタンプ or 野菜洗いなど) ↳ 3月
	いぐま	・折り紙で作ったドーナツと手作りトングでドーナツ屋さん ・れんげでピースやスチロールをすくう遊び	・洗濯ばさみで作ってみよう ・かたつむり飼育	・ペットボトルのお散歩バック ・ドーナツ屋さん用の紙袋を追加			・レンゲからお箸へ ・ドッチボール ・ケンケンパのサーキット ・病院ごっこ ・おまじないパペット使用	・神経衰弱(カードゲーム) (1月28日) ・日めくりカレンダーで日付、お天気を朝の会に知らせる		・ふくわらい遊び(1月28日) ・イス取りゲーム ・神経衰弱ゲーム ↳ パロディゲーム	
	いすい	・踊り 新曲1曲 ・製作 泡アート ・かなへびの飼育	・踊り 新曲1曲	・踊り 1曲 ・しゃぼん玉アート	・踊り 1曲 ・リズム遊び ・楽器遊び		・運動会ごっこ ・ハサミの製作 ・空き箱製作	・芋ほりの製作 ・言葉遊び		・正月遊び ・踊り 1曲	・踊り 1曲
	いすん	・お花のバッジ作り ・大々的なままごと&メニュー作り ・泡遊び・色泡遊び ・手作り玩具(ロケット) ・来年のカレンダー作り(1年生になった時に使用するカレンダー作りを楽しむ)	・ダム作り ・表現遊び(ピアノのリズムに合わせて) ・シート泡遊び ・お化け屋敷の準備	・神経衰弱ゲーム ・迷路遊び		・ハロウィン製作 ・運動会ごっこ ・自作迷路遊び ・自分で考えた迷路を友達と楽しむ。	・かまじいの製作 育てたかぼちゃをほりほて製作	・文字カード遊び ・等身大の自分の絵を絵の具や切り絵で作る。	・空き箱製作 様々な形、大きさの箱を使っての自由製作 お正月遊び ・長縄遊びを友達と楽しむ。(いろはにこんぺいとう)(ゆうびん屋さん) ・お面作り(素材を選び、オリジナルのお面作りを楽しむ。)	・卒園製作 ・茶巾アート(新作品)	・お面作り(素材を選び、オリジナルのお面作りを楽しむ。)
	発信の保護者		7/25 クラスだより 8月号に掲載 玄関に掲示		9/25 クラスだより 10月号に掲載 玄関に掲示		11/25 クラスだより 12月号に掲載 玄関に掲示		1/25 クラスだより 2月号に掲載 玄関に掲示		
話し合い	6/29(水) 7/1-7/2	7/1 (金) 7/23 職員会議にて実施 7/1-7/2	8/20 職員会議にて実施 中止	9/12(月) 9/14(水) 職員会議にて実施	10/22 職員会議にて実施	11/14(月) 11/16(水) 行事前の為 行わない	12/12(月) 12/14(水) 行事前の為 行わない	1/14 職員会議にて実施	2/20(月) 2/22(水) 行事前の為 行わない		

令和4年度 園内研修まとめ

◎年齢や発達に合わせ、子どもの遊び、保育が充実していくような環境作り、教材研究をする。

(こがめ組)

- ・発表会に向けて、マラカスづくりを11月に前倒して作った。
- ・ハンドル作りを子ども達と一緒に楽しんだ。
- ・子ども達の興味関心に合わせたり、どのようなものなら子ども達が楽しく遊べるか担当同士で話し合い、進めてきた。
- ・作るのは大変であったが、子どもが楽しんで遊んでいる姿や、一緒に作る事を楽しむ姿を見ると、やってよかったなと思った。

(こりす組)

- ・壁面に子ども達の好きな絵本のイラストを貼り、やりとりを楽しめるようにしたが、イラストを変えていけなかった。
- ・お散歩バックを作ったことで、より園外散歩に楽しみができた。
- ・子ども達の発語を促していきたいと思い、絵本などを取り入れ、やりとりを楽しめるようにした。

(こじか組)

- ・子ども達の姿を想像して計画を立てたことで、ねらい通りの姿が見られてよかった。
- ・1月にやりたい事が沢山になり、大変になってしまった。
- ・子ども達の今の姿を見つめ、保育者も研究していきながら、取り入れていくことの大切さを感じた。
- ・食育に引っ掛けた遊びや環境作りを1年通してやってきたことで、子ども達の興味も広がっていった。

(こぐま組)

- ・お箸への移行を意識し、手先を使う遊びの環境を考えた。
- ・ままごとを充実させてあげたらよかった。
- ・机上遊びに慣れていないことを感じる。
- ・ルールのある集団遊びを思っていたよりも楽しめた。
- ・子どもをよく見つめたり、遊びの環境を自分自身も調べたり意識して勉強する機会になった。

(ことら組)

- ・早めから楽器遊びをしていったことで、発表会の練習にスムーズに取り組めた。
- ・文字への興味が出たことで、歌詞カードを書いたところ、音楽とのふれあいと共に、文字への関心がより高まった。

(きりん組)

- ・普段の遊びや子どもの様子を見て、環境を作ったり、展開できた。
- ・今の興味関心を捉え、それが膨らんでいけるよう保育者が見守ったり、環境を作っていくことの大切さを改めて考える場となった。
- ・小さい頃からの経験の積み重ねで、自分で考えて遊びを発展する力がついていた。

◎遊びの環境について保護者に発信することで、遊びを知るきっかけになったり、家庭での遊びのヒントに繋がったりすることを願う。

- ・クラス日より、ホワイトボード、写真掲示等で取り組みや子ども達の様子を伝えてきた。家庭と繋がる声が多く聞こえてくるクラスもあったが、反応があまり感じられないクラスもあった。
- ・こちらが発信したことで、保護者がどう感じたかを知ることができたらよかった。

◎少人数のグループで保育等について話し合う機会を定期的に設け、保育観を共有し、スキルアップを目指す。

- ・他のクラスの様子を知るきっかけになりよかった。
- ・少人数のグループは意見が出しやすく、先生方の話をじっくり聞くことができた。アドバイスを受けたり、経験談を聞くことがスキルアップに繋がったと思う。
- ・子どもの困り感を話し合うことも大切だが、保育についても(遊び、進め方、環境設定、教材等)話し合いができると、一人一人の保育の引き出し、スキルアップしていくのではないかと思った。

◎園内研修のまとめ

- ・今回の研修は、普段の保育の延長にあることで取り入れやすく、保育を充実させられるものとなった。
- ・4月の年間計画をもとに見通しをもって計画を考える事が出来た為、取り組むことができた。
- ・園内研修をしたことで、クラスの保育の充実にも繋がったり、1年を通して見通しをもって保育出来たり等、自分の勉強になることも多々あった。
- ・掲示物を見ての反応がノートや普段の会話からは、思うほど感じられなかったのが残念であるが、園での楽しんでいる様子を知ってもらう機会に繋がったと思う。
- ・グループの話し合いでは、経験年数や、クラスの違う職員と話し合い、困り感や保育観を共有した。いろいろな視点からの意見をもらうことで視野が広がった。

～考察～

- ・今後も自分の勉強になったり、吸収できる実りある研修にするなら、日々の保育に取り入れられ無理なく手掛けられる内容だと進めやすいと感じる。
- ・職員会議内で教材研究をしたり、作成したりする時間が取れるとよいのではと感じた。
- ・遊びの様子をお便りで知らせる事は良かったと思うが、見てくれているかどうかはわからなかった。掲示をするのなら写真を多くした方が気軽に見るのではないか？又、今回の研修では掲示を見て頂く発信が主だったが、手ごたえを感じられるようにするならば、見たことが分かるようにシールを貼ってもらうなどの工夫をしても良かったのではないか？
- ・グループの話し合いはやってよかったと感じた職員が多く、今後も続けていけたらと思う。少人数だからこそ話し合う内容は保育観や子どもの困り感だけでなく、自分の意見や悩み事も積極的に話せる場となっていけたらいいと感じる。